

ともに励め合い ともに高め合う たくましい飯野っ子の育成
～あったか・学び・元気～

みんな「いいの」大作戦!



富津市立飯野小学校
学校だより
No. 15
令和6年11月25日
土居 浩紀



飯野小ホームページ

親子読書の取組Ⅱ【11/1～11/7】

読書推進の一環として、親子読書の取組を行いました。1週間の中で「親子で読書」「親の読み聞かせ」「子の読み聞かせ」に取り組んでいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。先日の学級懇談会で、話題になった学級もあったようで、好評の声を多くいただきました。感想の一部を紹介します。

子どもの感想

- ・楽しかった。嬉しかった。
- ・久しぶりに本を読んでくれて嬉しかった。
- ・久しぶりにお母さんと本を読んで楽しかった。本の良さに気づけた。
- ・インターネットをつかわない、静かな読書時間でした。

保護者の感想

- ・就寝前 30 分、子どもと本を読む時間を設けています。別々の本を読んでいます、穏やかな時間を過ごせ、癒されています。
- ・TVもつけずに2人の時間を作るなんてなかったので、とても良い時間でした。
- ・親子で同じことをする時間は意外とあるようでなかったので、今回の活動はとても良いものになりました。ありがとうございました。
- ・普段忙しいですが、少しでも子どもとの時間がとれて良かったと思います。
- ・久しぶりに読み聞かせをしました。静かに聞いてくれて嬉しかったです。
- ・字が読めるようになって読み聞かせをしていなかったの、良い機会になってよかった。休日など、親子で読書を意識的にしていきたいと思った。
- ・なかなかゆっくりと読書をする時間がないので、この宿題をきっかけに時間を意識して作りたいと思いました。
- ・なかなか親子で読書をする時間がないので、このように宿題にしてくださるとありがたいです。

子どもたちの読書離れは、全国的な様々な調査でも明らかとなっています。本校においても、前期のまとめに行った子どもたちへの調査で、「読書が好き」が76.6%、「朝読書以外で進んで読書している」が66.5%と低迷しています。

文科省の委託を受けた調査（平成28年度 子供の読書活動の推進等に関する調査研究）によると、“小学生が読書するきっかけ”として「家族と一緒に本を読んだり図書館や本屋に連れて行って読書すること」が51.1%と一番多く、「家の中で手に取りやすいところに本が置かれていること」が43.6%と続いています。読書習慣の定着には、家庭と学校との連携が大切だと感じます。引き続き、御家庭の協力もいただきながら、読書を推進していきたいと思います。

セブンイレブンかけこみ防犯教室Ⅱ【11/19】

セブンイレブン・ジャパン、セブンイレブン富津下飯野店、千葉県警察富津警察署生活安全課の皆様の御協力をいただき、防犯教室を実施しました。

「不審な人から『たったひとつの大切な命』を守る行動」について考えを深めることをねらいとして、「知らない人からしつこく道を聞かれたらどうするか」など、場面に応じた対応について実演を交えながら考えました。「地域の方に進んであいさつをすること」「困っている人を助けること」は大切であることは確認しつつ、怪しい人物からの身の守り方を学びました。

当日は、日頃から子どもたちの登下校の安全を見守ってくださっている見守り隊の方や保護者の方も参観いただき、一緒に防犯について考える機会となりました。



11月になって、急に寒くなりました。子どもたちの服装もすっかり冬の装いです。朝、校門のところ立って、子どもたちを迎えますが、この間まで日かげで暑さを凌いでいましたが、最近は日なたを探してさまよっています。寒いのは苦手ですが、子どもたちの元気な挨拶を受けると温まる気がします。（土居）